

お客様第一の業務運営における取組事例

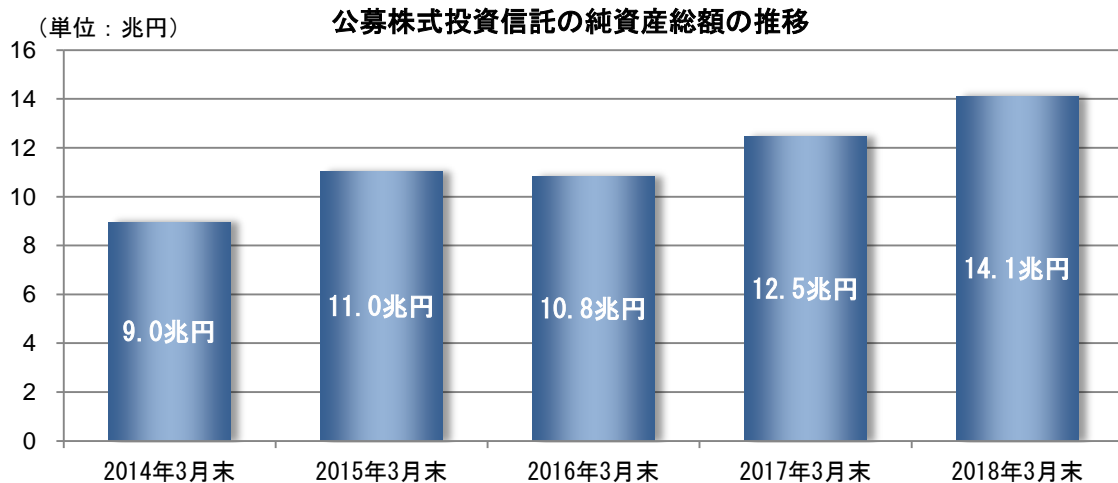
(2017 年度)

2018 年 6 月 29 日

大和証券投資信託委託株式会社

当社は、お客様に最も信頼され、選ばれる資産運用会社をめざし、お客様の利益を第一に考えた業務運営を行っています。

お客様からのご期待を賜り、当社は、株式投資信託等で幅広い商品ラインナップをそろえ、投資信託ビジネスにおいてわが国でトップクラスの規模の資産をお預かりするに至っております。



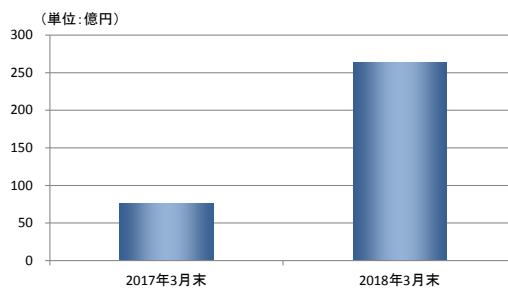
2017 年度における取組や成果についてご紹介いたします。

1. お客様の利益を追求する運用、金融商品・サービスの提供

- ▶ 組織的運用体制の強化のため、部組織の再編や海外現地法人との連携強化を図るとともに、ファンドマネージャー育成のための新たな研修制度を導入しました。
- ▶ AI（人工知能）技術の資産運用への応用のため、高度な専門技術を持った AI 専門人材を育成するとともに、大学・研究機関との共同研究及び自社による技術・モデル開発を行い、運用業務で活用しています。

- 議決権行使について、具体的な数値基準を含む詳細な「議決権の行使に関する方針」を開示しており、2017年4月開催の株主総会における議決権行使結果から個別開示を開始するなど、スチュワードシップ活動（投資先企業への議決権行使、建設的な対話等）の強化に努め、お客様の中長期的な利益の向上に取り組んでいます。
- 長期・積立・分散投資による資産形成ニーズにお応えするため、多様な商品を取り揃えています。2017年度は、インターネットを利用するお客様をはじめ、さまざまな投資ニーズに対応するファンドシリーズ「iFree」を拡充し、合計20本のラインナップとしています。2018年1月から開始したつみたてNISAによる積立投資ニーズに対しては、14本を対象商品としています。また、ESG投資（環境・社会・企業統治に対する企業の取組を重視する投資）の手法を採用したETF3本を新たに設定しました。

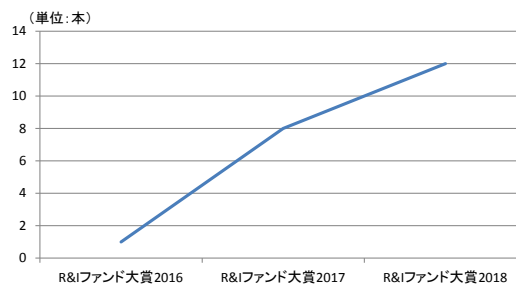
## 《ファンドシリーズ「iFree」の純資産残高の推移》



- 高度な専門的知識・技術を有する人材を育成・確保し、その能力の向上に努めています。当社において、公益社団法人日本証券アナリスト協会の証券アナリスト資格の保有者数は、2017年度末で304名（前年度比7名増加）です。
- また、良質な運用実績を追求するため、様々な取組を継続的に行っています。その成果として、「R&Iファンド大賞2018」では、投資信託/国内ESG部門における「女性活躍応援ファンド（愛称：椿）」など6本のファンドが最優秀ファンド賞を受賞し、6本のファンドが優秀ファンド賞を受賞しました。

## 《外部機関による評価》

### 「R&Iファンド大賞」の受賞ファンド本数の推移



## 2. お客様の投資をサポートする情報提供

- お客様向け資料の見やすさ・わかりやすさ向上の取組の一環として、多くのお客様が利用しやすいようユニバーサルデザインを取り入れる等の工夫を進めるとともに、投資が初めてのお客様にも商品の理解を深めていただけるよう説明の充実に取り組んでいます。
- 新たに企画・開発する公募投資信託商品において、投資信託説明書（交付目論見書）に「大和投資信託からのメッセージ」を掲載しています。商品化の趣旨を説明するとともに、当該投資信託商品への投資が適すると想定するお客様のタイプ（投資目的、リスク許容度等）についてお伝えし、お客様の投資判断に役立つよう努めています。
- ウェブサイト等を通じて、お客様の資産形成に役立つ情報提供を行っています。2017年度には、幅広いお客様に対して投資に興味を持っていただけるよう、個人型確定拠出年金（iDeCo）の専用サイトの設置や、お金にまつわる生活全般のお役立ち情報をお届けする情報サイトの立ち上げ、金融リテラシー向上ツールの提供を行いました。
- 上記のほか、コンテンツの拡充等、情報提供の向上に取り組んでいます。2017年度には、ウェブサイトにおいて1,529件（前年度比307件増加）のレポート及び動画（法定開示書面を除きます。）を配信しました。当社が行う運用についてお客様に深く理解していただき、共感していただけるよう、運用哲学や運用の特色について個性的な情報をお送りしています。

## 3. お客様に安心して投資していただくための業務運営基盤の確立

- 利益相反の発生の可能性について厳格に把握し、利益相反の可能性がある場合には利益相反を適切に管理するために、「利益相反管理方針」を策定し、その概要を公表しています。2017年度は、「利益相反管理方針」に沿った態勢の整備を進めました。
- スチュワードシップ活動におけるガバナンス強化・利益相反管理の一層の充実のため、委員長及び構成員の過半数を社外取締役とする「スチュワードシップ監督委員会」を設置しています。2017年度は、スチュワードシップ監督委員会を4回開催しました。

「R&I ファンド大賞」は、株式会社格付投資情報センター（R&I）が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

以上